熊本大学海外派遣留学生　報告書

氏名	Ｊさん（仮名）		
所属	文　学部		
留学先機関名	ニューカッスル大学　（国名：オーストラリア　　）		
留学先所属	☐　特定の学部・研究科に所属（　　学部・研究科） ☑　特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☐　その他：		
留学期間	2018 年　3　月 －2018　年　11　月	留学開始時学年	3　年次
奨学金	☐　JASSO 海外留学支援制度　　☐　国際奨学事業 ☑　トビタテ！留学 JAPAN　【第　7　期】 ☐　その他（　　）		

１．出発前の準備について

ビザの種類	☑ 有　　☐ 無 種類（　学生ビザ　）	**ビザ申請先**	☑国内　　☐ 現地 場所（　オンライン　）
必要書類、手続き 手続きに要した期間	二日間くらいでビザを取得できた。 成績証明書、オファーレター、戸籍謄本、マイナンバーなど。		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	寮の申請		
留学に向けて 取り組んだ語学	☑英語　　☐ 独語　　☐ 仏語　　☐ 中国語 ☐ 韓国語　　☐ その他（　　語）		
勉強方法	IELTS 各６．５を目指して勉強。 熊大の英語の先生とフリートークをする機会を利用してスピーキングの練習をした。		
留学先の手続き （必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等）	寮の申請や受けたい授業の申請、事前のオンラインコースなど、やるべきことがたくさんあり、なかなか進まないことも多かった。		
事前の必要経費 （留学前に必要な支払い費用） ※概算費用	☐ 授業料　　円　☑ 寮費　18 万　　円 ☐ 語学研修費　　円　☐ 教材費　一万　　円 ☐ ビザ申請　　円 渡航費（☑片道　☐往復）　46000　　円 海外旅行保険料　42000　　円 ☐ その他（　　）　　円		

２．渡航～到着時の生活について

利用航空会社	中国東方航空	**手配**	中国東方航空サイト ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**	福岡―上海ーシドニー	**到着時刻**	15：00 【※移動時間（約４　　時間)】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー ☑公共交通機関（□バス　☑電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**	空港から Central 駅まで行き、それからニューカッスル行きの電車に乗った。　空港から Central までの値段が高く 17＄ぐらい。Central からニューカッスルまで 6＄くらい。　空港の駅で Opal card が買える。カードを使う方が安い。		
住居のタイプ	☑寮　□アパート その他（　　）	**住居手配**	☑大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	□一人部屋 ☑二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 ☑他国からの学生 その他（　　）
住居の申込手順	オンライン申請して、メールが来たら期日までに deposit として二週間分の寮費を支払う。　早めに申請した方がいい。		
住居でのトラブルおよび解決方法	鍵を持たず出て入れなくなったら、二回目からは 30＄くらい支払わなければならないので注意。		
大学への交通手段 **(※費用がかかれば費用も)**	歩き		
生活費および内訳 **（概算を円換算）**	生活費計　約 10 万　　円／月 （生活費内訳） 住居費：87904　　円／光熱費・通学費　なし 食費：　6000　　円／通信費：　1148　　円／書籍代：一万円 その他：（　洗濯代　　）　410 円／回 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの：　　円 （徴収された費用の名目：　　）		
その他生活で必要な手続き、アドバイス **(口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)**	携帯電話は自分のケータイを持っていき、SIM カードを空港で買った。30 日間と決まっているもの。初月以降は、オンラインでチャージできる。私は extra small プランを使っていた。３GB で 1148 円程度。大学内では Wi-fi が使えるからこのプランでも十分一か月過ごせた。 寮費も洗濯代もすべてオンラインでの支払い。		

３．留学先の大学について

授業（カリキュラム）の概要について	3 月 19 から 6 月上旬まで語学学校。5 週間 Upper intermediate クラスで、10 週間 Academic クラス。 8 月の一週目から本学の授業を開始。好きな授業を取れる。
履修登録の時期 登録方法	☑渡航前　☑渡航後　⇒（　7　月頃） ☐オンラインで登録　☐志願書類の提出 ☐その他（　　）
留学生特例措置（履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等）	☐有り（具体的には以下のとおり） ☑無し
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	特にサポートはなかった。 本学の授業が始まる時もオリエンテーションなどはなく、普通に前期の続きという感じだった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	Student service で学生証を作った。大学でパソコンの使い方や ID 設定の仕方は語学学校で教えてくれた。 Ｏｐａｌ card には学生用のカードがある。語学学校に通っている間は申請できないが、本学での授業が始まると、Student service で申請できる。学生用のカードを持つとだいぶ安いので申請するべき。
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	前期はテコンドー部に入っていた。（ルームメイトが誘ってくれた）日本に興味のある学生が集まるクラブや留学生向けのクラブなどいろいろある。ポータルでどんなサークルがあるか探すことができる。

４．一週間のスケジュールについて

（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00			休みの日			予習・復習	予習・復習
8:00							
9:00							
10:00	初級中国語			初級中国語	中級中国語		
11:00	↓	語学学校の発音クラス	図書館で勉強	↓	↓		
12:00	↓	↓	↓	初級中国語チュートリル	↓		
13:00			↓		中級中国語チュートリアル		
14:00							
15:00							
16:00		心理学		心理学チュートリアル			
17:00		↓		↓			
18:00		↓					
19:00					クリスチャングループの集まりに参加		
20:00					↓		
21:00					↓		
22:00					↓		
23:00					↓		
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
語学学校ではスピードカンバセーションクラス・発音クラス・フリートーククラスなどいろいろある。こういった課外クラスに積極的に参加し、英語を話す機会をできるだけ作った。語学学校で行われるアワードにノミネートされた。 人前で話すことが苦手だったが、語学学校でグループディスカッションやプレゼンテーションをすることで慣れた。プレゼンテーションでは高得点をとることができた。 語学学校でなかなか英語を話す機会がなく落ち込んでいたが、自分なりに新しいコミュニティを見つけることで環境を改善できた。 自分の意見を積極的に発信できるようになった。 英語力ももちろん大事だが、人とコミュニケーションを取るときに大事なことの大部分は相手の言いたいことを正確にくみ取り、次の会話に繋げられる力だと思った。
同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）
なるべく IELTS を取得して前期から本学で勉強するというプログラムの方が良いと思う。 私は本学の授業を四教科取ったが、難しく課題も多かったので多すぎたなと感じた。 留学先の大学では、初回からみっちり授業をやるため、初回が体験授業みたいな感じではない。でも、決められた期限までは受ける教科を自由に変えられるため色んなものに参加すると良いと思う。ポータルで授業内容や課題形式など事前にしっかり調べておくといい。留学前に授業希望を出すが、留学中にも変更できる。 大学ではいろんなイベントがあるためなるべく参加した方がいいと思う。Facebook でいつどんなイベントがあるか見られるため、よくチェックするといい。
留学を通しての感想
高校生の時に三か月留学したことがあったため、ホームシックになることはないだろうと思っていたが最初の方はきつい、つらいと思うことが多かった。友達作り、コミュニティづくりが一番難しかった。とりあえず早いうちから色んなイベントに参加して、人脈を作ることが大事だと思った。 途中、留学して何か成果が得られているのか不安になった時もあったが、振り返ってみると、たくさんの良い経験ができ、成長した部分もあった。焦らず目の前のことに全力で取り組むことが大事だと思った。準備や勉強などするべきことがたくさんありきつかったが、普段はできない貴重な経験や素敵な思い出を得ることができた。 日記でもなんでもいいが、その日の出来事や思ったことなどを記録しておくといいと思った。また、せっかくの留学を無駄にしないために、自分の留学目的や目標などを頻繁に確認することも大事だと思った。 今後は、留学の成果を活かして就職活動を頑張りたいと思う。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

氏名	K さん（仮名）		
所属	法　学部		
留学先機関名	ニューカッスル大学　（国名：　オーストラリア　）		
留学先所属	☐　特定の学部・研究科に所属（　　学部・研究科） ☑　特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☐　その他：		
留学期間	2018 年 3 月 ー　2018 年　11 月	留学開始時学年	4　年次
奨学金	☑　JASSO 海外留学支援制度　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		

１．出発前の準備について

ビザの種類	☑ 有　☐ 無 種類（　学生ビザ　）	**ビザ申請先**	☑ 国内　☐ 現地 場所（　ネット　）
必要書類、手続き 手続きに要した期間	パスポート、入学許可証、OSHC(保険) オーストラリア大使館のサイトからネット申請 2週間ほど		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	ニューカッスル大学からメールで届く案内に従って個人情報や履修内容などをMyhubというサイトにて登録 大学IDの登録など		
留学に向けて 取り組んだ語学	☑ 英語　☐ 独語　☐ 仏語　☐ 中国語 ☐ 韓国語　☐ その他（　語）		
勉強方法	IELTS対策講座、英単語、読解、英語ラジオ		
留学先の手続き （必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等）	Myhub登録などが難しく時間もかかりました。		
事前の必要経費 （留学前に必要な支払い費用） ※概算費用	☐ 授業料　円　☑寮費　敷金17万、申し込み寮1万　円 ☑ 語学研修費　60万　円　☐ 教材費　円 ☑ビザ申請　5万1千　円 渡航費（☐片道　☑往復）　10万　円 海外旅行保険料　16万5千　円 ☐ その他（　）　円		

２．渡航～到着時の生活について

利用航空会社	JAL	**手配**	個人手配 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**	東京→シドニー シドニー→ニューカッスル （シャトルバス）	**到着時刻**	午前　11 時 【※移動時間（約　12　時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車）　☑その他（　公共のシャトルバス、要予約　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**	私の場合、荷物が多かったのでシドニー空港から大学の寮まで送ってくれるシャトルバスを予約していました(1 万 2 千円)。シドニーからニューカッスルは電車で３時間程ですが乗り換えもあるので荷物が多い上に最初で不安な人はシャトルバスが便利だと思います。		
住居のタイプ	☑寮　　□アパート その他（　　）	**住居手配**	☑大学の斡旋　　□自分で その他（　　）
部屋の種類	☑一人部屋 □二人部屋 その他（　5 人シェアタイプ　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 ☑他国からの学生 その他（　　）
住居の申込手順	日本でネットから応募、第 4 希望まで入力可。		
住居でのトラブルおよび解決方法	寮のオフィス窓口、メール、寮のネットページに要望を伝えるとすぐに対処してくれます。		
大学への交通手段 **（※費用がかかれば費用も）**	徒歩		
生活費および内訳 **（概算を円換算）**	生活費計　　約　16 万円／月 （生活費内訳） 住居費：　8 万円／光熱費：(洗濯) 1500　円／通学費：　　円 食費：　　6 万　　円／通信費：　3500　　円／書籍代：2 万円程度(語学学校テキスト、初回のみ) その他：（　交通費　）5 千　　円 （　交際費、娯楽費　）1 万　　円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの：　　円 （徴収された費用の名目：　　）		
その他生活で必要な手続き、アドバイス **（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）**	アルバイトするときは銀行口座開設が必要、寮費はクレジットカード払いだったがシェアハウス、ホームステイなどは口座間や現金払いなので銀行口座があるほうが便利、銀行のアプリを使って割り勘もしやすい。学生はみな OSHC という保険に入らなければならないが、それでカバーできない部分を個人で海外保険に入りました。交換留学生は OSSMA の留学生危機管理サービスを利用でき、友達は学校の窓ガラスを割ったとき OSSMA に相談し保険の利用手配などをしてもらっていました。携帯電話は、SIM カードを入れ替えて利用し、毎月の更新は携帯のアプリで行ないました。		

３．留学先の大学について

授業(カリキュラム)の概要について	語学学校はupper intermediateで5週間、EAPで10週間 その後大学で15週間 大学の履修登録は渡航前にネットでするよう言われますが、語学学校が終わってからでもできるので心配いらないです。 大学に入ってからは週３コマ程なので自由時間が増えます。
履修登録の時期 登録方法	☑渡航前　☑渡航後　⇒（　7　月頃） ☑オンラインで登録　☐志願書類の提出 ☐その他（　　）
留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)	☑有り（具体的には以下のとおり） ・毎セメスターが始まる前に留学生用のオリエンテーション有 ・履修制限はそこまでないが、レベルが1000番台の授業を主にみんなとる ☐無し
留学先大学でのサポート体制について (語学面／学校生活／住居・日常生活等)	語学学校の先生はとても親切で相談すると優しく対処してくれます。ホームステイ事務局もあるので、ホームステイをしたい、変えたいという要望を聞いてくれます。寮も24時間セキュリティで何かあってもすぐに対応してくれ、私が鍵を無くした時も部屋を開けてもらいました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)	Student officeにて学生証を発行、 大学の授業が始まってから交換留学生と認められるので、その後は交通ICカードの半額のタイプが利用できます。Student Officeに相談するといいです。
授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	毎週月曜　ニューカッスル大学のmixバスケットボールに所属(facebook) 毎週木曜　ニューカッスル全体の女子バスケットボールのクラブチームに所属(mix basketballのチームメイトの紹介) 毎週月曜、木曜　Japanese English Club(Language centerの日本人は大体みんな加入、活動参加は自由) 交換留学終了後、帰国までシドニーの保育園でボランティア(自分で履歴書をつくりアポイントメントをとった)

４．一週間のスケジュールについて

（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	Language center	Language center	Language center	Language center	Language center		
10:00							
11:00							
12:00						友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
13:00							
14:00							
15:00	Japanese English Club	図書館	図書館	Japanese English Club	図書館		
16:00							
17:00							
18:00	Mix basketball	友達と夕食	友達と夕食		友達と夕食		
19:00				Women basketball			
20:00							
21:00	宿題、自学	宿題、自学	宿題、自学	宿題、自学	宿題、自学		
22:00							
23:00							
24:00							

語学学校時は毎日９時～１５時授業

大学は２時間の授業が週に３コマです。空き時間のほとんどを図書館で課題に費やしていました。

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
語学学校、大学で勉強すれば自然とListening, Writing, Readingの力はつきました。しかし、Speakingに関しては自分がどれだけ話すか次第です。 オーストラリア人に限らず、どの国の人もフレンドリーで初対面でもどんどん喋りかける部分は見習うべきだと思いました。 同じ時期にきた他大学の日本人学生と関わり、すぐに単語帳を開く、家で常に英語ラジオを聴く、英語でどんどん話しかけるなど積極的な姿勢を見て自分の意識も変えられました。また、周りの反応を気にしてしまうタイプだったがそんなものは必要ないと気づきました。
同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）
想像しているより同じ時期にくる日本人はたくさんいます。英語の環境は自分で作らないといつまで経っても英語力は伸びません。 授業をこなすだけでは友達も増えずつまらない毎日になるので、アクティビティに参加したり、facebookでイベントを見つけて出向くといいです。 勉強を見てくれるネイティブの友達がいるとすごく助かると思います。 もし、住居が合わなかったらすぐに変えることをお勧めします。私の場合、ルームメイトがみんな大人しかったので家での英語を話す機会はほとんどなかったのがもったいなかったと反省します。 また、その分友達と外食していたのですが、オーストラリアは物価が高いのでお金がすごくかかります。
留学を通しての感想
留学に行ったら、日本語ゼロの環境がある、友達もたくさんできて英語漬けの毎日だと想像していました。実際、日本人はたくさんいて、スーパーもセルフレジだし英語なんか使わなくても生きていけます。授業を受けていればリスニングはどんどん伸びたが、人見知りの性格や自分の英語に自信がないことからスピーキングの機会を減らしてしまっていたので、スピーキングスキルが追い付かず焦りを感じていました。しかし、EAPで10分間のプレゼンテーションをしたあたりから何かが吹っ切れて、自分から英語の環境を作るように変わりました。図書館にこもる毎日もつまらない、と思っていたけれど図書館で友達もできるし、田舎な町なりに遊び方も過ごし方も日本と全く違う経験ができ、結局は勉強も生活も楽しむかどうかは意識次第だなと感じました。 日本人とつるむことはあまり良くないイメージだけれど、彼らからも学ぶことが多く、私は友達になって多くの時間を一緒に過ごして良かったと思います。ストレスで精神的に疲れたり生理不順をおこしたりしたけれど、素敵な出会いも新たな楽しみも見つけたこの９か月、ニューカッスルで過ごせて良かったです。